

## 鋼製足場板

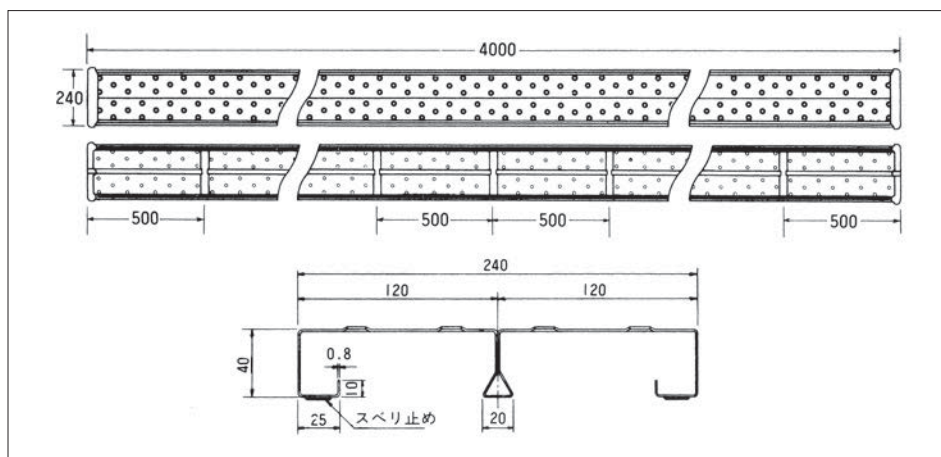
※合板足場板（木製）アルミ合金製足場板は弊社では取扱っておりません。

### ■特徴

1. 合板足場板より30%も軽く、取扱いや運搬等が容易に行えます。
2. 最大強度は、使用荷重1.47kN（1800スパン）に対して2.5倍以上あり安全です。また同一荷重に於けるたわみは、アルミや合板製足場板の半分です。
3. 本体は高張力溶融亜鉛メッキ鋼板の一体成形品を使用しているため強度面や防錆力に優れ、維持管理が容易です。
4. 路面全面に丸穴打出し加工を施しており、滑り止め効果は抜群です。
5. 下面両側全長に渡って特殊な滑り止めを施してあり、安定した設置が行えます。

### ■使用上の注意

1. ご使用になる前に、下面の滑り止めの付着具合を確認して下さい。
2. 許容荷重（中央集中1.47kN / スパン1800mm）を超える荷重は架けないで下さい。
3. 足場板は3点以上の支持物に掛け渡し、支持する間隔は、1850mm以下で使用して下さい。なお、この場合の許容荷重は1.37kNとします。
4. 両端の支持点からの突き出し部の長さは10cm以上、20cm以下としてご使用下さい。
5. 2m以上での高所作業床として使用する場合は、2枚以上並べて、番線またはゴムバンドで支持物に固定して下さい。この時の足場板同士のスキマは、3cm以下として下さい。
6. 足場板を長手方向に重ねる時は、必ず支点の上で重ね、その重ねた部分の長さは20cm以上とし、番線またはゴムバンドで支持物に固定して下さい。



足場板の種類

形式	L (mm)	W (mm)	単重 (kg)
FG-400C	4,000	240	13.5
FG-300C	3,000	240	10.9
FG-200C	2,000	240	6.7

本体性能

材質	高張力鋼板 (KTG-S2)	
	亜鉛メッキ量	90g/m <sup>2</sup> 以上
引張強さ	64.68kN以上	
ヤング係数	20.58 × 10 <sup>9</sup> N / cm <sup>2</sup>	
形状	断面積	A = 4.06cm <sup>2</sup>
	断面二次モーメント	I = 9.77cm <sup>4</sup>
	断面係数	Z = 3.73cm <sup>3</sup>

制限荷重（中央集中荷重＝単純梁の場合）

支持間隔	1.8m
制限荷重	1.47kN
たわみ量	0.9cm

性能比較

種類	単重 (kg)	たわみ (mm)
軽量鋼製足場板	13.5	6
アルミ合金製足場板	10.1	18
合板足場板（木製）	18.0	20

↑4mもの

↑1.8mスパン980N中央集中

